

第2学年道徳学習指導案

日 時 平成22年11月2日(火) 5校時
場 所 2年教室
児童数 11名
指導者 木 村 睦

- 1 主題名 友達っていいな 2—(3) 信頼友情
2 資料名 おばこぶちのかっぱ (遠野市教育研究会道徳部会編)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目2—(3)は、「友達と仲よくし、助け合う。」ことを指導内容としている。信頼と友情及び助け合いの心をもった児童を育てようとするものである。

望ましい人間関係は、人と人との関わりの中で相互に信頼することから成り立ち、友情はその信頼の上に育っていく。よい友達関係を築くためには、自分と異なった相手の立場を思いやって、互いに認め合い、理解し合うことが大切である。

友達との関わりが深くなっていくこの時期に、「友達っていいな。」「もっと仲よしになりたいな。」という思いを育てていきたい。

(2) 資料について

おばこぶちに棲むかっぱは、子供達と遊びたいという思いを抱いていた。だが、子供達が石を投げつけたり逃げたりするので、時々淵に入ってくる馬や子供の足を引っ張ることで気を紛らしていた。ある日、足を冷やしに来た馬の足を引っ張ったところ、逆に引きずられ、「しんや」という家の馬屋まで引きずられ、村人達の怒りの声に怯える。そして、子供達の自分を疎外する言葉に固くなってしまふ。それを見た子供達は、自分達のかっぱに対する偏見やそれに基づく冷たい仕打ちを反省する。

この資料は、柳田国男の「遠野物語」58番の話を、かっぱと子供達にスポットを当てて道徳の読み物資料に書きなおしたものである。児童にとっては、郷土に伝わる話として聞いたことがある内容なので、親しみをもって読むことができると思われる。また、子供達とかっぱの姿の中に日常の自分達の生活を重ね合わせ、友達との関わり方について振り返ることのできる資料であると考えられる。

(3) 児童について

2年生の児童は、明るく活動的である。学習や係活動においては、協力し合うことができる。また、遊び時間に互いに誘い合って遊んだり、困っている友達を手伝ったりする様子が見られる。

一方、些細なことで機嫌を損ねてしまい、みんなとの遊びを途中で止めたり、自分の思い通りにならないと悪口を言ったりするなどの行動が見られる。自己中心的な部分が強く、自分の主張を譲らずに押し通そうとし、素直に「ごめんなさい。」と謝らない時がある。

本年度実施した意識調査によると、「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」や「主として集団や社会とのかかわりに関すること」については意識が高い結果が出たが、「主として自分自身に関すること」や「主として他の人とかかわりに関すること」については、意識が低い結果であった。

そこで、相手の立場に立って自分の行動を振り返り、どのように行動すればいいのかを考えさせることは大切である。よりよい人間関係を築くためには、様々な判断力を身につけ、互いに認め合い、理解し合うことが大切であることを感じ取らせたい。

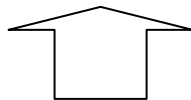
4 本時を「要」として位置づけた指導構想図

	特別活動 ・体験的活動	道徳の時間	各教科等の学習	日常指導・その他
9月	○学級活動 「さつまいもほり」 友達と協力して、さつまいもを収穫する。	<p>◇友達っていいな 「おばこぶちの かっぱ」 (信頼友情) 2ー(3) 友達と仲よくし、 助け合おうとする気 持ちを育てる。</p>	○音楽 「かぼちゃ」 友達とグループに なり、音の組み合わせ を考えて遊ぶ。	○「おはようございます」 「さようなら」等のあ いさつや、「ありがと う」「ごめんなさい」な どがきちんとと言えるよ う指導する。
10月	○学校行事 「学習発表会」 みんなで力を合わ せ、学習発表会を成功 させる。		○誘い合って遊ぶよう指 導する。	
11月	○学級活動 「なかよし集会を しよう」 友達と力を合わせ、 さつまいもの収穫を 祝う会を開く。		○帰りの会でその日の生 活を振り返らせる中 で、友達の善い行いを 見つけ発表させる。	
12月	○学級活動 「2学期の反省」 2学期の生活を振 り返らせる。		○生活科 「たのしい子ども ひろば」 友達と協力して 「子どもひろば」を開 く。	

5 研究テーマに関わって

「心豊か」

友達と助け合い、仲良く活動することができる子ども



〈仮説（1）児童の思考や話し合いを深める手立て〉

- 発問の工夫
 - ・ 「きもちわるいから。」という言葉がどんなに酷い言葉であるかを押さえるために、動かなくなってしまったかっぱの気持ちを問う。
- 板書の工夫
 - ・ 捕えられたかっぱを囲む状況の変化が分かるように、板書を変化させる工夫をする。

〈仮説（2）役割演技や書く活動などの表現活動の位置づけ〉

- 役割演技
 - ・ 捕えられ大勢の人間に囲まれたかっぱの気持ちをより共感的にとらえさせるために役割演技をさせる。
- 書く活動
 - ・ 学習して思ったことをかっぱへの手紙として書かせる。

6 資料分析 資料名 おばこぶちのかっぱ

場面	子供達を遠くから眺め、いたずらばかりする一人ぼっちのかっぱ。	村人達に捕まって取り囲まれ、ぶるぶる震えているかっぱ。	「しんや」の主人と子供達の会話を聞いて、ショックを受けるかっぱ。	子供達に謝られて涙を流すかっぱ。
主人公の行為ととりまく状況	<ul style="list-style-type: none"> ・かっぱは、いつも一人ぼっち。 ・かっぱは、いつも、馬や子供達と遊びたいと思っている。 ・子供達は、かっぱを見ると、逃げたり石を投げつけたりする。 ・かっぱは仕方なく、遠くからみんなを眺めたり、いたずらしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村人達はかっぱのいたずらに立腹している。 ・村人達はかっぱを懲らしめるための仕打ちについて口々に言い、かっぱは恐ろしさで震えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しんや」の主人に問われた子供達が、かっぱをいたずらではなく外見の醜さによって嫌っていたことを答える。 ・外見を「きもちわるい。」と言われたかっぱは、びくっとし、真っ青になり、固くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かっぱの様子が変わったことで、自分達の仕打ちのひどさに気づいた子供達が次々に謝る。 ・かっぱは涙を流し、もういたずらをしなくなる。
主人公の意識の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ぼっちで寂しいなあ。 ・みんな楽しそうだなあ。 ・ぼくも一緒に遊びたいなあ。 ・ぼくは遊びたいのに、石を投げられたり逃げられたりするから悲しいなあ。 ・いたずらすると、みんなが騒いでおもしろいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・怖いよう。 ・動けないよう。 ・真っ暗だよ。 ・何も見えないよう。 ・いたずらしなければよかったなあ。 ・ごめんなさい。 ・ぼくはどうなるのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ち悪いって思われていたなんて。 ・みんなと一緒に遊びたかっただけなのに。 ・気持ちが悪くから、逃げたり石をぶついたりしてたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が謝ってくれた。 ・ぼくの気持ちを分かってくれたのかなあ。 ・ぼくのことを分かってくれてうれしいなあ。 ・いたずらなんかもうしないよ。
児童の意識の変容過程	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ぼっちで寂しいんだね。 ・うらやましかっただろうなあ。 ・石を投げられても、子供達のこと好きなんだろうなあ。 ・いたずらするのは、一緒に遊びたいからなんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼葉桶の中は苦しいだろうなあ。 ・いたずらしなきゃよかったのに。 ・早く謝ればいいのに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いたずらのせいではなく、気持ちが悪くから石をぶつけるなんて酷すぎる。 ・気持ち悪いって言われていやだったろうなあ。 ・気持ち悪く言われてかわいそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が謝ってくれてよかったね。 ・子供達が自分の気持ちを分かってくれてよかったね。 ・子供達と仲良くなれるといいね。
基本発問	かっぱはどうして、子供達の遊ぶ様子を見たり、いたずらをしていたりしていたのでしょうか。	かっぱはぶるぶる震えながら、どんなことを思ったでしょう。	かっぱはどうして真っ青になって、動かなくなってしまうのでしょうか。	かっぱはどうして涙を流したのですか。

7 本時の指導

(1) ねらい

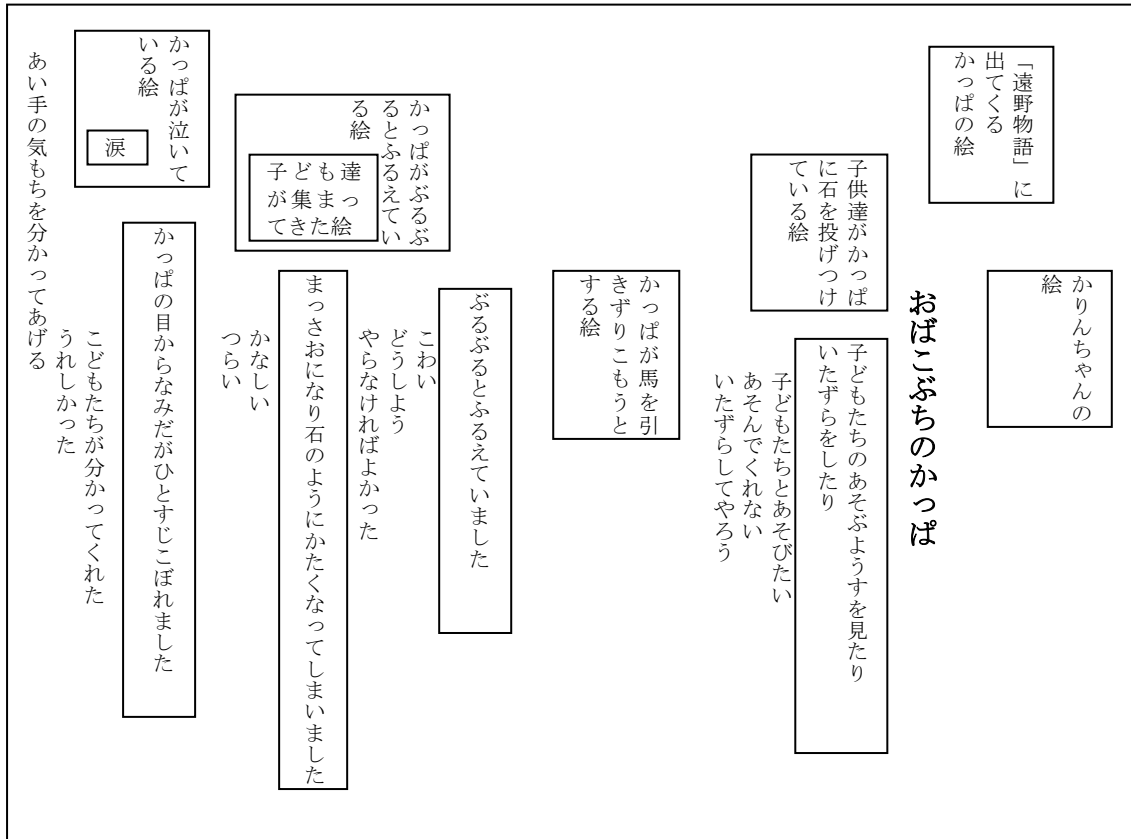
友達と仲良くし、助け合おうとする気持ちを育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 (): 仮説に関わる事項
導入 3分	<p>1 かつばとはどのような生き物か、イメージをつかむ。</p> <p>(1) かつばとはどのような生き物でしょうか。</p> <p>(2) 「遠野物語」に出てくるかつばは、どのような生き物でしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かわいい ・カリンちゃん ・気持ち悪い ・恐ろしい ・気持ち悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリンちゃんの絵などを提示し、最近遠野でイメージされているかつばの様子をつかむ。 ・「遠野物語」の中で表現されているかつばを紹介し、人々に受け入れられていない存在であることをつかませる。
展開	<p>2 資料「おぼこぶちのかつば」を読み、かつばの行動と気持ちの移り変わりについて話し合う。</p> <p>(1) かつばが一人ぼっちで子供達を眺めている場面について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かつばはどうして、子供達の遊ぶ様子を見たりいたずらをしたりしていたのでしょうか。</p> </div> <p>(2) かつばが村人達に捕まり、村人達の会話に怯えている場面について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かつばは、ぶるぶる震えながらどんなことを思ったでしょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ぼっちで寂しいから。 ・一緒に遊びたいから。 ・子供達が遊んでくれないから。 ・子供達が優しくないから。 ・子供達がかつばに石を投げたりして意地悪だから。 ・いたずらすると、子供達が騒いでおもしろいから。 ・遊ぼうって言えないから、いたずらして一緒に遊んだつもりになっている。 ・怖いよう。 ・動けないよう。 ・真っ暗だよう。 ・何も見えないよう。 ・いたずらしなければよかったなあ。 ・ごめんなさい。 ・ぼくはどうなるのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつばの寂しさや悲しさ、むなしさなどに共感させるために、かつばが子供達の遊ぶ様子を見たりいたずらをしたりするわけを問う。(発問) ・かつばに対する子供達の仕打ちの冷たさにも気づかせる。 ・村人達につかまった時のかつばの心情を問い、かつばの恐怖心に共感させる。(発問) ・捕えられ大勢の人間に囲まれたかつばの気持ちをより共感的にとらえさせるために役割演技をさせる。(役割演技)

展 開	<p>(3) かつばが「しんや」の主人と子供達の会話を聞いた場面について話し合う。</p> <p>かつばはどうして真っ青になって動かなくなってしまったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が「きもちわるいから。」と言ったから。 ・気持ち悪いから嫌われていたことが分かったから。 ・心に傷がついた。 ・ショックだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が集まってきた状況の変化をつかませる。(板書) ・「きもちわるいから。」という言葉がどんなに酷い言葉であるかを押さえるために、動かなくなってしまったかつばの気持ちを問う。(発問) ・子供達に囲まれ、「きもちわるいから。」と言われたかつばの心情に共感させるため、役割演技をさせる。(役割演技)
	<p>(4) かつばが子供達に謝られて涙を流した場面について話し合う。</p> <p>かつばはどうして涙を流したのですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて声をかけられて嬉しい。 ・子供達が謝ってくれたから。 ・子供達がかつばの気持ちを分かってくれて嬉しいから。 ・これからは仲良くできるかもしれないと思ったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・涙の訳について問い、理解してもらえただけで涙が出るほど喜ぶかつばの切ない気持ちを押さえる。(発問)
39分	<p>3 学習したことを振り返る。</p> <p>きょう学習して思ったことを、かつばへのお手紙として書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かつばさん、これからは仲良く遊べるね。よかったね。 ・かつばさん、子供達が謝ってくれてよかったね。これからはずっと友達だね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達を大切にしようという気持ちを高めるねらいから、学習して感じたことを書かせる。(書く)
終末 3分	<p>4 教師の話聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを思いやることで仲よくなった子供達の話をし、よりよい友達関係を築いていこうとする意欲付けをしたい。

(3) 板書計画



(4) ワークシート

The worksheet is a large rectangle with several vertical lines for writing. On the right side, there is a title and a short paragraph. At the bottom left, there is a text box.

おびいぢぢのかっぱ

きょう 学しゅうして 思ったことを かっぱへのお手紙として 書きましよう。

かっぱが涙を流している絵